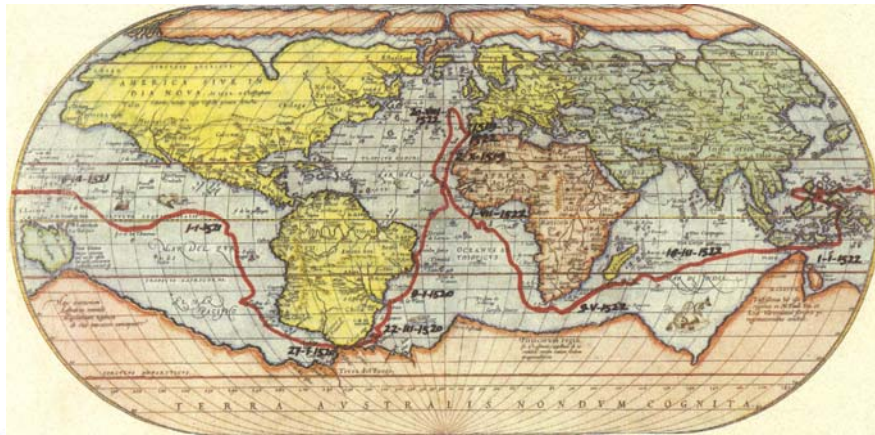


“シェリー酒”

世界を旅した初の白ワイン1519~22



ボデガ「グッティエレス・コロシア」所蔵地図より

マゼランにより世界一周（マゼランは5艘の船でサンルーカルから出港）



シェリーは新世界発見後の大航海時代の遠征隊の必需品だった。

“船酔いしたシェリーは、
価値が倍になる”
と、ロンドンで高値取引される

マゼランは長旅に出る前にヘレスのワインを417袋と253樽購入し、ビクトリア号に載せて出港。
ベネズエラやペルーなどの新天地征服の祝宴にもヘレスのワインが振舞われたという記録が残っている。

Wine in Shakespeare's days and Shakespeare's plays

- 1964 by Andre L. Simon

シェイクスピアの作品に登場する酒ばかりを集め研究した洋酒界の博学王「アンドレ・シモン」Andre L. Simon(1877-1977)である



大学図書館蔵書:

- ・京都大学 吉田南総合図書館
- ・熊本大学 附属図書館

シェイクスピア作品の中のシェリー

- 『リチャード3世』
- 『ヘンリー4世』
- 『ヘンリー6世』
- 『真夏の夜の夢』
- 『十二夜』
- 『ウィンザーの陽気な女房たち』
- など



(シェリー好きでお馴染みのFalstaff)

「ヘンリー4世」に登場する酒豪“フォルスタフ”、この人物のセリフには「サック」よく登場する。(シェリーもマデイラもエリザベス朝時代には、「サック」とまとめて呼ばれていたこともあり、シェイクスピアの作品には「シェリーサック」や「サック」としてよく登場する。)

「私に千人息子が居たとしても、最初に私が教えるであろう人間として大事なことは、味の薄い酒を断固止めシェリー酒に身を捧げるということだ。」(W.シェイクスピア)

Edgar Allan Poe



Edgar A Poe

"The Cask of Amontillado"

アモンテリヤードの樽



短編ミステリー小説

If penicillin can cure those that are ill, Spanish sherry can bring the dead back to life.



— Alexander Fleming —

「もしペニシリンで病気が治せるなら、シェリーは死人を蘇らせる」

1928年;ペニシリンの発見



オペラ『カルメン』



アンダルシアの州都、セビージャ(セビリヤ)の都を舞台とした恋愛悲劇。



ジョルジュ・ビゼー



「ああ、セビージャの砦の辺り、行く先はバステア。踊るはセギディージャ、飲むはマンサニージャ。

ああ、もし俺がお前を愛するなら、カルメン、お前は俺を愛してくれるよな?」

花言葉、ならぬ酒言葉
シェリー酒:
「今夜はあなたに
すべてを捧げます」

女性が男性に
「シェリーを飲みたいわ」と言ったら・・・
⇒迷わず「いいよ!」
とシェリー酒をおごりましょう!



徳川家とシェリー酒



徳川家康
初代将軍
(在職1602-1605)

英国人の日記の中に、
献上された記載あり



徳川家定
13代将軍
(在職1853-1858)

献上品の目録の中に、
シェリー酒が1ケース
記載あり

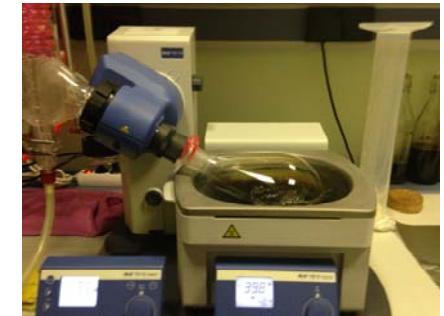


徳川家定
15代将軍
(在職1867-1868)

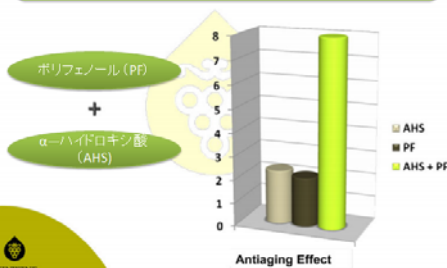
晩餐会でシェリーが
サーブされた



Universidad de Cádiz



二つの有効成分がもたらす
相乗効果



BMJ Journals
Heart

Education in Heart

The French paradox: lessons for other countries

Jean Ferrières

Department of Epidemiology, INSERM U558, University School of Medicine, 37 allées Jules Guesde, 31073 Toulouse cedex, France; ferrierecict.fr

